

を繰り返した。経過より、誤飲性肺炎を疑ったが諸検査にて異常を認めなかった。この頃より口腔内に胆汁様分泌物を認めるようになり、 $^{99m}\text{Tc}$ -PMTによる胆道シンチを施行した。10分像にて肝中央上縁より正中を上方向に異常排泄像を認め、30分像にて2気管分岐部と思われる逆V字状の像が得られた。手術にて、肝中央上縁より食道前方に沿って走る径7mmのfistelが気管分岐部右側に開口しているのが認められ、胆道シンチグラムの所見と一致した。

先天性気管胆道瘻はまれな先天性の奇型で、現在までに8例の報告があり、その診断は全例気管支造影気管支鏡にてなされている。

今回、われわれのように、胆道シンチグラムにて確診し得たのは最初の症例と思われ、報告した。

#### 46. $^{99m}\text{Tc}$ -Sn コロイド肝シンチグラフィにおける腎描出例

金川 公夫	杉村 和朗	田中 豊
橋本今日子	山崎 克人	石堂 伸夫
浜田 俊彦	松井 律夫	鍋嶋 康司
末松 徹	橋林 勇	西山 章次

(神大・放)

われわれは $^{99m}\text{Tc}$ -Sn-コロイド肝シンチグラフィにて腎描出を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

症例は37歳男性で、昭和56年11月頃より徐々に進行する易疲労性、労作性呼吸困難のため、昭和59年1月、心不全の診断にて当院第一内科に入院した。肝シンチグラフィを施行したところ、腎描出を見た。free  $^{99m}\text{TcO}_4^-$ の存在を否定するため、2週間後再度施行したが、同様の所見を得た。また両日の他の症例では腎描出を認めなかった。

腎描出の原因としては、I. free  $^{99m}\text{TcO}_4^-$ の存在、II. RES細胞のmigration説、III. 近位尿細管のphagocytosis説、IV. 尿中排泄説が報告されている。今回、本患者と3例のcontrol群とのRI尿中排泄率を調べたところ、両者(control群の1例を除く)には有意な差を認められなかった。以上I, IVの説は前述した理由により否定的と考えられる。IIまたはIIIの説である可能性が高いと思われるが、両者とも現時点では仮説であり、今回はその原因を明らかにできなかった。

#### 47. うっ血性脾腫における骨髄 Scintigram 上の末梢伸展 Pattern の解析

高橋 豊	駒木 拓行	宮本 忠彦
石原 明		(天理病院・RI)
赤坂 清司		(同・血液内)

〔目的〕 $^{99m}\text{Tc}$ -S-colloid法による骨髄 scintigraphyにより造血の場としての活性髓の全身性分布状況を、特発性門脈圧亢進症(IPH)33例、巨脾性肝硬変症(LC)25例を対象に観察し、Ferrokinticsによる赤血球産生の定量的指標と、関連要因としての赤血球寿命の測定結果と比較検討した。

〔方法〕既報のごとく骨髄 scintigraphyを $^{99m}\text{Tc}$ -S-colloid用い、局所 spot法で、症例により一行走査全身撮影法を併用して行った。Ferrokinticsは、Huff法に準じ、PITはmg/d/ml blood volumeで表わした。 $^{51}\text{Cr}$ -RBCの混和平衡後の初期減少勾配、 $\lambda_d$ を赤血球破壊(喪失)速度の指標とした。活性髓分布の体幹中心部から四肢末梢へ伸展拡大する程度を、0(縮小)、I(正常域)、II(上腕・大腿近位2/3)、III(肘・膝関節近傍)、IV(手・足関節近傍)の5段階に、また、長管状骨両端付近のpatternを、Epiphysis, Metaphysis各部に注目して、O型、IM(中間)型、M型、EM型、E型の5型にそれぞれ分類整理した。

〔結果と考察〕IPH, LCともgrade II~III, IM~M型が大多数を占め、正常対照と慢性溶血性貧血の中間から後者寄りに位置し、“造血の場”の欠落・減少の所見はみられなかった。PITとの相関性は、IPH群で伸展のgrade、長管状骨近位および遠位端のpatternにおいて有意で、重回帰法による全体としての相関性は $R=0.72$ (IPH),  $0.64$ (LC)であった。一方、 $\lambda_d$ の増加に対応するPITの増加は、両群とも、鉄欠乏、非欠乏の別なく不十分であった。

〔結論〕以上の分析結果より、 $^{99m}\text{Tc}$ -S-coll.でimage化される活性髓の全身性分布状況に、うっ血性脾腫例では不足状態は認められず、出現する貧血は鉄欠乏要因を別にしても、出血や破壊の亢進に対する代償不全の様相をおびるものと解された。